

平成25年度笠松町社会福祉協議会事業報告

1 会議

(1) 理事会

第1回

期日 平成25年5月22日

内容 評議員の委嘱同意・定款の一部改正・経理規程の一部改正
平成24年度事業報告・平成24年度決算・訪問入浴残余財産処分
平成25年度補正予算

出席 理事7人・監事2人

第2回

期日 平成25年9月20日

内容 専決処分の承認・社会福祉大会

出席 理事7人・監事2人

第3回

期日 平成26年3月20日

内容 評議員の委嘱同意・役員及び評議員の費用弁償規程
経理規程の一部改正・就業規則の一部改正
育児休業等及び介護休業等規程一部の改正・職員給与規程の一部改正
居宅介護支援専門員の給与その他の勤務条件等規程の一部改正
ホームヘルパーの給与その他の勤務条件等規程の一部改正
小規模授産所職員の給与その他の勤務条件等規程の一部改正
平成25年度補正予算・平成26年度事業計画・平成26年度予算
県社会福祉法人指導監査

出席 理事7人・監事2人

(2) 評議員会

第1回

期日 平成25年5月27日

内容 理事の選任・定款の一部改正・経理規程の一部改正・
平成24年度事業報告・平成24年度決算・訪問入浴残余財産処分
平成25年度補正予算

出席 評議員17人・会長・監事2人

第2回

期日 平成26年3月26日

内容 役員及び評議員の費用弁償規程・経理規程の一部改正
平成25年度補正予算・平成26年度事業計画・平成26年度予算
全国ボランティアフェスティバル

出席 評議員14人・会長

(3) 監査会

期日 平成25年5月2日

内容 平成24年度事業決算監査

出席 監事2人 会長

(4) 部会

調査広報部会

第1回	期日	平成25年	4月11日	内容	「かさまつ社協」第141号
第2回	期日	平成25年	6月10日	内容	「かさまつ社協」第142号
第3回	期日	平成25年	8月6日	内容	「かさまつ社協」第143号
第4回	期日	平成25年	10月10日	内容	「かさまつ社協」第144号
第5回	期日	平成25年	12月6日	内容	「かさまつ社協」第145号
第6回	期日	平成26年	2月10日	内容	「かさまつ社協」第146号

2 社協体制の強化

(1) 社協会員制度

本会の主旨に賛同する住民・法人・団体等に会員にいただき、会員と共に地域福祉を進める。

会員・会費の状況

種別	地域	加入数	口数	金額	加入率
一般会費	笠松	2,165	2,170	1,085,000円	88.1%
	松枝	2,343	2,381	1,190,500円	76.3%
	下羽栗	1,137	1,137	568,500円	61.7%
	計	5,645	5,688	2,844,000円	76.6%
法人会費	笠松	123	136.75	273,500円	—
	松枝	90	121.00	242,000円	—
	下羽栗	86	109.00	218,000円	—
	その他	6	6.00	12,000円	—
	計	305	372.75	745,500円	—
賛助会費	—	261	294.5	294,500円	—
計				3,884,000円	—

※ 一般会費加入率＝加入数／町内広報配布数（7,372）

3 広報・啓発

(1) 広報紙「かさまつ社協」発行（年6回 8,600部）

全世帯・事業所に配布し、福祉啓発

社会福祉協議会の収支決算及び事業報告、またボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、授産所だよりなどの情報を提供

(2) 社会福祉大会

町民、福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の進展に努力することを確認

講演等を行い、福祉に理解を得る 手話通訳実施 参加者250人

期日 平成25年11月3日

会場 中央公民館 大ホール

内容 大会宣言採択 福祉メッセージ表彰 表彰・感謝状贈呈

記念講演 演題 孤立しない・させない地域づくり

～より豊かな人生にするために～

講師 キーパーズ有限会社 代表取締役 吉田 太一 氏

実践発表「ふれあいいいきサロン」

善光寺サロン・金池サロンの運営スタッフ

授産所活動紹介（作品・アルミ缶回収募集パネル展示）

(3) リバーサイドカーニバルへの参加

本会の事業等をPRのために参加

期日 平成25年10月20日 ※悪天候のため中止

内容 介護保険事業パネル紹介 介護相談 地域包括支援センター紹介

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する相談・連絡調整 研修会等の開催

ボランティアセンター登録数

団体ボランティア	17団体	458人	個人ボランティア	45人
実ボランティア数	495人			

(2) ボランティア講座

障がい者ボランティア講座

発達障がいや自閉症についての理解を深め、障がいのある方の地域生活を支える

ボランティアの養成を図る

期日 平成25年7月16日

会場 障がい福祉施設 あいそら羽島

内容 講話 障がい（発達障がい、身体障がい）についての理解

障がいのある方との接しかた・ボランティア活動について
施設見学

講師 社会福祉法人豊寿会 在宅部門責任者 小木曾 美佐子 氏

人数 4人

(3) 技術ボランティアの育成

①要約筆記ボランティア講習会

町民のボランティア意識の向上と、聴覚障がい者への情報提供する要約筆記奉仕員の養成を目的に開催する

期日 平成25年8月9日・23日・30日、9月6日・17日・20日・26日、
10月4日・7日・11日・25日（午前・午後）計12回

会場 笠松中央公民館

内容 聴覚障がいについての理解、要約筆記に関する基礎知識

人数 申込者3人（修了者2人）

②さあ！あなたも!!地域デビュー講座

福祉出前講座のサポーターを養成する。学校で子ども達と触れ合うことにより、地域での交流につなげていく

期日 平成26年3月28日

会場 福祉健康センター

内容 福祉出前講座のサポーター養成

車いす体験・高齢者疑似体験の実施方法等の学習

人数 7人

(4) その他ボランティア活動推進のための事業

①ボランティア保険の加入促進・加入手続

Aプラン375人、Bプラン75人、天災Aプラン4人、天災Bプラン4人
計 458人

②ボランティア情報の提供

ボランティア募集、研修会案内、活動紹介等を広報紙「かさまつ社協」等で行う施設での話し相手、手品、歌などの余興ボランティアを施設へ情報提供

5 高齢者福祉

(1) ひとり暮らし高齢者配食サービス

高齢者の食生活の健全化と配達時の交流を目的に実施

期日 笠松地域 月1回 7回(6・7・8・9・11月を除く) 462食

場所 中央公民館

期日 松枝地域 月1回 7回(5・7・8・9・11月を除く) 313食

場所 松枝公民館

期日 下羽栗地域 月1回 9回(7・8・9を除く) 81食

場所 下羽栗会館

総配食数 856食

内容 各地域ボランティアに依頼し、ひとり暮らし高齢者に弁当を配達してもらう
対象数(3月) - 笠松70人 松枝45人 下羽栗9人

(2) ひとり暮らし高齢者及び高齢者昼食会

高齢者が会場まで出向き、参加者やボランティアとのふれあい交流を図る。

期日	場所	内容	人数
5月 8日	松枝公民館	軽体操 松枝保育所園児との交流	高齢者 69人 ボランティア20人
5月30日	下羽栗会館	日本舞踊 下羽栗保育所園児との交流	高齢者 64人 ボランティア15人
11月20日	松枝公民館	軽体操 双葉幼稚園児との交流	高齢者 59人 ボランティア20人
11月22日	下羽栗会館	日本舞踊 下羽栗保育所園児との交流	高齢者 64人 ボランティア15人

(3) ひとり暮らし高齢者向け広報紙「えがお」発行

高齢者への情報提供及び民生委員に配布を依頼し、状況を把握してもらう

期日 毎月発行

内容 ひとり暮らし高齢者向けの手作り広報紙

絵手紙、おでかけ、歌のコーナー、読者のページ、保健師だよりなど

(4) ひとり暮らし高齢者等グループづくり事業(ふれあい・いきいきサロン)

内容 ひとり暮らし高齢者及び地域の高齢者等の生きがいくつくりと組織化

高齢者、民生委員、ボランティアが近くの集会所等に集まり、世間話や軽体操、レクリエーションなどを行う

6サロン(穴太部・門間・萩の会・木曜会・善光寺・金池)

サロン名	開催日(原則)	対象町内(原則)
穴太部サロン	毎月第2金曜日	上柳川町・下柳川町・門前町
門間サロン	毎月第2水曜日	中門間
萩の会サロン	毎月第2水曜日	田代東
木曜会サロン	毎月月末(1回)	瓢町・桜町
善光寺サロン	毎月第1水曜日、第3土曜日	下新町・新町・天王町
金池サロン	毎月第4日曜日	西金池町・東金池町・若葉町

(5) ふれあい・いきいきサロンリーダー研修会

期日 平成26年3月19日

会場 福祉健康センター

人数 30人

内容 現在開催しているサロンの代表者や新規サロン立ち上げに興味・関心のある方を対象にサロンの情報交換などを行うことでより充実したサロンが継続できるよう、また新規サロンが立ち上がるように研修会を開催

(6) 歳末たすけあい事業

①布団丸洗い乾燥

新年を気持ちよく迎えてもらうために、寝たきり、認知症高齢者世帯対象に布団の丸洗い乾燥を行う 3世帯

②歳末大掃除

新年を気持ちよく迎えてもらうために、寝たきり、認知症高齢者世帯対象に大掃除を行う(シルバー人材センターへ依頼) 1世帯

6 児童福祉・福祉教育

(1) 福祉出前講座

内容 福祉全般についての啓発 職員が出向き講座を開催 車いすの操作方法や福祉制度・介護保険等の話をする 学校・企業・地域の団体を対象

実施日 松小 5/1 講話 福祉について 笠小 6/7 車いす体験
 笠小 6/18 高齢者疑似体験 松小 6/4 講話 福祉について
 松小 6/13 高齢者疑似体験 松小 11/25・28 車いす体験
 下小 10/23 高齢者疑似体験

(2) 福祉教育推進事業

内容 学校の福祉に関する授業等の進め方のアドバイスや障がいを持つ方や手話通訳者等の紹介等をする(実施要請なし)

(3) 福祉キャラバン事業

内容 子どもたちの優しさや思いやり等の「福祉の心」を育むことを目的として実施する また、事業の公開・啓発等により、保護者や地域住民への福祉に関する理解の促進を図る

①笠松中学校・笠松保育園 ※園児は前半のみ（会場－中央公民館）

期日 平成25年8月20日

内容 全盲のピアニストの方のお話と演奏

講師 桑原 良恵氏（視覚障がい者）

②松枝小学校

期日 平成25年11月18日

内容 「介助犬について」 介助犬についての講話と働く様子の実演

講師 日本介助犬協会

③下羽栗小学校

期日 平成25年12月10日

内容 「盲導犬について」 盲導犬についての説明と働く様子の実演・体験

講師 中部盲導犬協会

(4) ふくし体験教室

内容 福祉教育の一環として、体験や障がいのある方との交流を通して、福祉や障がい者ボランティア等に関する幅広い知識や理解を子どもたちに身につけてもらい、ボランティアの基盤づくりや、「福祉のまちづくり」へつなげていく 参加者数 延べ91人（申込者13人 修了者13人）

回	開催日	テーマ	内容	参加数	小学生	中学生	場所
1	6月1日	お年よりにになったら？	開校式・高齢者疑似体験 ふれあいいいきサロン萩の会の方と交流	13	11	2	福祉健康センター
2	7月6日	お年よりとふれあおう！ 認知症って？	認知症についての学習 グループホーム 昭和館まどか 入所者との交流	8	7	1	中央公民館 昭和館まどか
3	8月12日	補助犬ってなあに？	補助犬についての学習 介助犬総合訓練センターの見学	10	8	2	介助犬総合訓練センター
4	8月5日 6日26日 27日	障がいについて学ぼう	障がいについての学習 障がい者の方との交流	11	9	2	笠松町心身障害者小規模授産所
5	9月28日	からだが不自由ってどんなこと？	車いす体験 車いすのスポーツ体験	7	6	1	中央公民館
6	10月20日 悪天候のため中止	募金活動をしよう！	リバーサイドカーニバル会場 で共同募金活動	—	—	—	みなと公園
7	11月2日	車いすで町へでよう！	車いすで外出（電車乗車・買い物等の体験） 車いす体験マップの作成	12	10	2	中央公民館
8	12月1日	手ではなそう！	手話の学習 聴覚障がい者との交流	9	8	1	中央公民館
9	2月1日	見えない世界はどんな色？	視覚障がい、ガイドヘルプ体験・点字学習・ 視覚障がい者との交流	11	9	2	福祉健康センター

10	3月1日	福祉ってなあに？	福祉についての学習 1年間の振り返り 修了式	10	10	0	中央公民館
----	------	----------	---------------------------	----	----	---	-------

(5) 小学生のためのボランティアスクール

高齢者とのふれあいや体験等を通じて、福祉やボランティアに対する興味、関心や理解を深めることを目的として開催。対象は小学生4～6年生

期日 ①平成25年7月29日

②平成25年7月30日

場所 特別養護老人ホーム リバーサイド笠松園

内容 特別養護老人ホーム訪問し、特殊浴槽等の施設の見学や、入所者とのふれあい

人数 ①9人(松小4人・下小5人)・親3人

②10人(松小10人)

(6) 中学生・高校生のためのボランティアスクール

2日間通し、高齢者とのふれあいや車いす体験等を行い、福祉やボランティアに対する興味・関心や理解を深めることを目的として開催

対象 笠松町に在住在学の中学生・高校生

① 高齢者コース

期日 ①平成25年7月22日・23日

②平成25年7月25日・26日 申込者なしのため中止

場所 特別養護老人ホーム リバーサイド笠松園

内容 特別養護老人ホームを訪問し、特殊浴槽等の施設の見学や、入所者とのふれあいを通して、福祉についての関心を高める

人数 ①3人

②障がい者コース

期日 平成25年8月22日・23日

場所 笠松町心身障害者小規模授産所

内容 小規模授産所を訪問し、利用者と一緒に過ごす。
授産所の役割、障がいについての理解を深める

人数 申込者1人のため中止

(7) ボランティアグループKind育成(支援)事業

ふくし体験教室に参加し、福祉について学んだ小・中学生らが、教室の修了後も継続してボランティア活動に取り組むことを目的として設立

参加者 延べ114人(登録者27人)

開催日	内 容	参加数	場 所
4月28日	メンバーの顔合わせ (15年度～24年度ふくし体験教室修了生) 年間活動計画づくり	17	中央公民館
5月11日	年間活動計画づくり レクリエーションの準備	6	福祉健康センター
6月8日	保育所での活動に向けての準備	7	福祉健康センター
7月13日	保育所の園児との交流	12	松枝保育所

7月26日	授産所所生との交流・空き缶の仕分け (ないすはあ〜との会へ参加)	1 2	笠松町心身障害者 小規模授産所
9月21日	リバーサイドカーニバルバザー品の 受付・引取	1 2	福祉健康センター
10月 5日	赤い羽根共同募金 街頭募金活動	1 4	トミダヤ ピアゴ
10月19日	バザー用品の値札付け リバーサイドカーニバルの打合せ	1 1	福祉健康センター
10月20日	赤い羽根共同募金バザー (リバーサイドカーニバル)	中止	みなと公園
11月 9日	ひとり暮らし高齢者への年賀状作成	1 0	福祉健康センター
12月14日	ひとり暮らし高齢者とのクリスマス会	1 3	福祉健康センター

(8) 福祉教育担当者会議

福祉教育の一層の充実を図るため、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校・教育委員会・本会事務局の担当で構成し、福祉教育の進め方等を検討

第1回 期日 平成25年5月15日 参加者12人

会場 福祉健康センター

内容 福祉教育実践に関する情報交換、情報提供、社協事業紹介

第2回 期日 平成26年3月18日 参加者11人

会場 福祉健康センター

内容 25年度における本会と各学校福祉教育関連事業の報告
来年度の取り組みについて

(9) 教職員福祉学習研修会

福祉教育を行うために必要な知識と経験を得るため、車いす体験、視覚障がい者体験、高齢者疑似体験などや障がい者の講話による障がい者理解、福祉教育の取り組みに関する意見交換等を行う

期日 平成25年8月8日 参加者29人

会場 松枝小学校

内容 各種疑似体験と障がいについての講話(車いす使用者)

(10) 福祉メッセージの募集

福祉メッセージを募集することにより、福祉について考えるきっかけをつくる
中学生・小学生から募集 大賞・優秀賞・佳作を選考し、表彰

入賞作品を広報紙に掲載し、町民への福祉啓発をする

(平成25年10月16日 審査会開催) メッセージ集の作成

応募総数 小学生1,043点 中学生620点 計1,663点

7 障がい者(児)福祉

(1) 心身障害者小規模授産所の運営

心身に障がいのある人が、授産所に通所することにより、働くことに生きる喜びを持ち、また地域との関わりを通して、社会的自立及び生活の向上を図る

定員20人(通所者9人 内 知的障がい者8人 身体障がい者1人)

授産事業収入 868,126円

(紙バック736,433円 アルミ缶90,800円 農作物37,093円 その他3,800円)

(2) ふれあいもちつき会

知的障がい児者家庭の相互交流・障がい児とのふれあいによる障がい児者福祉への理解の促進を図る

期日 平成26年1月18日

場所 福祉健康センター

内容 レクリエーション・もちつきをして交流

人数 知的障がい児者17人・家族19人・ボランティア44人 計80人

(3) サマースクール

特別支援学校等に通う障がい児者の夏休み期間中の保護者負担軽減、生活リズムの維持を目的として開催 参加者 障がい児者延71人・ボランティア延60人

期日 平成25年7月27日から8月31日の毎週土曜日

内容 レクリエーション、おやつづくり、調理実習、おでかけ 等

日付	内 容	参加数	ボランティア	場 所
7月28日	ダンス・音楽でゲーム 岐南北小学校 武山先生	12	6	福祉健康センター
8月3日	体操・ゲーム 笠松小学校 近藤先生・松原先生	13	7	福祉健康センター
8月10日	おでかけ 大垣市スイトピアセンター	9	9	大垣市スイトピアセンター
8月17日	万華鏡を作ろう 笠松中学校 田辺先生	12	12	福祉健康センター
8月24日	工作・ゲーム 下羽栗小学校 丹羽先生	11	12	福祉健康センター
8月31日	調理実習 カレー・サラダ・ゼリー	14	14	福祉健康センター

(4) 授産所交流事業

期日 平成25年8月9日

会場 岐南町やすらぎ苑

人数 22人

内容 羽島郡内の小規模授産事業施設の所生を対象に、音楽を通じて交流することにより福祉の増進を図ることを目的として開催。富田学園ギター・マンドリン部の演奏を聴いたり、手話歌などを披露

8 在宅福祉

(1) 福祉機器貸出

寝たきり高齢者及び身体障がい者に対して福祉機器（ギャジベット・車いす等）を貸し出し、福祉の増進を図る

貸出料—無料 消毒・搬出搬入料—自己負担

新規貸出件数 19件（ギャジベット1件・車いす17件・吸引器1件）

年度末貸出件数 14件（ギャジベット4件・車いす9件・支援バー1件）

(2) 歳末たすけあい事業

歳末見舞金配布

生活保護、準要保護世帯対象に歳末見舞金を民生委員の協力により配布

世帯	世帯数	人数	金額(円)
生活保護	48	57	258,000
準要保護	76	183	594,000
合計	124	240	852,000

(3) 日常生活自立支援事業の推進

判断能力や日常生活に不安のある方が、住み慣れた地域で安心した生活ができるように福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービスや書類等預かりサービス等を行う(現在利用者なし)

(4) 応急生活資金貸付事業

生活困窮世帯で当座の生活費に困窮している者に対し、急場の援助をすることを目的に無担保、無保証で10,000円を限度に貸付

貸付件数 5件(48,000円) 返済件数 4件(40,000円)

9 相談事業

(1) 福祉何でも相談窓口

気軽に相談できる窓口を開設し、住民ニーズの把握、適切なアドバイス、関係機関との連絡・調整、問題の解決を図る

365日相談8:30~17:30 休日は携帯電話対応

相談員-福祉活動専門員

10 介護保険

(1) 居宅介護支援事業

介護保険の利用相談・サービス計画の作成・サービス事業者との調整・給付管理
延利用者数 1,303人(介護予防支援含む)

(2) 訪問介護事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が対象者宅を訪問し、入浴、排泄、通院等の身体介護、買物・掃除等の生活援助を実施 延訪問回数 4,709回

11 障がい者福祉サービス事業

(1) 居宅介護・同行援護・移動支援

日常生活を営むのに支障のある身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の世帯に対してホームヘルパーを派遣し、日常生活の援助介助を行い、健全で安らかな生活を営むことができるよう援助 延派遣回数 1,170回

12 受託事業

(1) 地域包括支援センター事業(町から受託)

介護保険法に定められた包括的支援事業(総合相談・実態把握、介護予防ケアマ

ネジメント、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント)の実施
介護予防支援事業所として笠松町から指定を受け介護予防支援を行う
介護予防支援延人数 1,529人

- (2) 高齢者生活援助活動事業 (町から受託)
日常生活を営むのに支障のある高齢者等の世帯に対してホームヘルパーを派遣し、
日常生活の援助世話をを行い、健全で安らかな生活を営むことができるよう援助
延派遣回数 238回
- (3) 介護保険訪問調査 (行政から受託)
介護支援専門員による要介護認定のための調査 延調査件数 84件
- (4) 生活福祉資金の活用指導 (県社協から受託)
低所得・高齢者・身体障がい者等の世帯を対象に資金貸付
民生委員による指導・監督と必要な援助指導により経済的自立及び生活意欲の助
長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるよう貸
し付けを行う (貸付・償還中10件)
種類一 総合支援資金 (生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費)
福祉資金 (福祉費・緊急小口資金)
教育支援資金 (教育支援費・就学支度費)
不動産担保型生活資金

13 その他

- (1) まちづくりイベント実行委員会
春まつり、川まつり、リバーサイドカーニバルに実行委員会構成団体事務局とし
て準備段階から参画
- (2) 岐阜県共同募金会笠松町分会
共同募金会事務局とし赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進
募金活動・事務に従事
- (3) 羽島市・羽島郡障害区分認定審査会
認定審査会委員として審査会に出席